

令和2年(2020年)10月31日(土曜日)

請求代表者「否決残念」

三島市来月にも都計審

駅前再開発の住民投票

広域健康医療拠点やマンションなどを建設する三島駅南口東街区の再開発事業を巡り、30日に開かれた三島市議会臨時会で市民団体が請求した住民投票条例案は否決された。4857人分の署名を集めた請求代表者の1人は議決後に会見し、「否決は残念。市議会は5千人の意見を代弁する意思があるのか疑問」と批判した。

―関連記事4面へ

臨時会では財政負担や地下水への影響など再開発の根幹に関する質疑が多く、「本来は終わっていない議論。このまま都市計画決定されるのは恐ろしい」とり監視していく」とし「今後も市民への説明と意見聴取を行い、三島」

「今後の市民への説明と意見聴取を行い、三島の持続的発展に向けて再開発事業の早期実現に努める」と述べた。豊岡武(三島支局・金野真仁)

記者の目

三島市議会が否決した三島駅南口東街区の再開発を巡る住民投票条例案は事業の賛否を正面から問わずに曖昧な選択を求めた内容だった。投票用紙の前置きに「コロナなどの感染症を踏まえて」と記すなど、世論を把握する上での公平性も欠く。署名の重みを考えれば軽々に修正案が出るわけもなく、否決は妥当と言え

これから予定される都市計画決定は事業用地の用途などを決める手続きであり、事業計画が決まるわけではない。条例制定を請求した市民からは「都市計画した市民からは」
曖昧、公平性欠き否決は妥当
「三島支局・金野真仁」